

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2017-164342(P2017-164342A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-53484(P2016-53484)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月20日(2017.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を実行する演出実行手段と、

前記演出実行手段による演出に関連する調節を実行する調節実行手段と、

前記調節実行手段による調節に対応する対応報知を行う調節対応報知手段と

を備え、

客待ち中と遊技中とで遊技状態が移行したときには、遊技状態の移行に応じて、客待ち中の前記対応報知と遊技中の前記対応報知が切替わり、

遊技中の前記対応報知は、客待ち中の前記対応報知に比べて遊技に対する影響が小さい、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(1) 本発明は上記目的を達成するためになされたものであり、本発明の一態様による遊技機は、

演出（例えば、演出表示装置 9 の表示、スピーカ 2 7 から出力される演出音、又は枠 L E D 2 8 の発光等）を実行する演出実行手段（例えば、演出制御基板 8 0 等）と、

前記演出実行手段による演出に関連する調節（例えば、スピーカ 2 7 から出力される演出音の音量調節、又は枠 L E D 2 8 の輝度調節等）を実行する調節実行手段（例えば、演出制御基板 8 0 に操作検出信号を入力するための、プッシュボタン 1 2 0、十字方向コントローラ 2 0 1、十字方向コントローラ 2 0 2 等）と、

前記調節実行手段による調節に対応する対応報知（例えば、演出表示装置 9 の表示画面に表示される音量調節の調節結果を報知する音量設定 7 0 0 の表示又は音量設定 8 0 0 の表示等）を行う調節対応報知手段（例えば、演出制御基板 8 0 等）とを備え、

客待ち中と遊技中とで遊技状態が移行したときには、遊技状態の移行に応じて、客待ち中の前記対応報知と遊技中の前記対応報知（例えば、図 4 8 (a) に示す客待ちデモ中に

おける音量設定 7 0 0 の表示と図 4 8 (b) に示す遊技中における音量設定 8 0 0) が切り替わり、

遊技中（例えば、演出制御基板 8 0 によって実行される演出図柄変動中処理実行中、又はラウンド中処理実行中等）の前記対応報知は、客待ち中（例えば、演出制御基板 8 0 によって主基板 3 1 から客待ちデモ指定コマンドを受信したときに実行される客待ちデモ中の演出実行時）の前記対応報知に比べて遊技に対する影響が小さい（例えば、演出図柄の視認を妨げない等）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

このような遊技機によれば、演出に関連する調節の利便性を高めつつ、遊技中の興趣の低下を防止することができる。また、演出に関連する調節の利便性を高めつつ、調節結果の報知の識別性を向上させることができる。